

令和6年度 2年国語評価基準

学期	月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語
1学期	4月	2	こえの 大きさを かんがえて はなそう すぐろくトーク 教科書:P8 ◇いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。 ☆学習用語:声の大きさ／伝える／相手／声のものさし
1学期	4月	6	きょうの できごとを 書きとめよう つづけて みよう ——日記 教科書:P10 ■毎日の生活を振り返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記を書く。 ☆学習用語:日記／日記のたね

1学期	4月	2	<p>たのしく こえに 出して よもう ちいさい おおきい 教科書:P12</p> <p>□体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。</p>
1学期	5月	15	<p>ー とうじょう人物の した ことに 気をつけて 読もう はるねこ 教科書:P16</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、音読する。</p> <p>★ここが大事:とうじょう人物</p> <p>☆学習用語:登場人物/様子/場面/音読</p>
1学期	5月	3	<p>大事な ことを おとさずに 聞こう ひろい 公園 教科書:P32</p> <p>◇質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。</p> <p>★ここが 大事:大事な ことを おとさずに 聞く</p> <p>☆学習用語:質問/様子/言葉/いつ/どこ/どんな/だれ/何</p>

1学期	5月	2	<p>言葉の文化① 回文を たのしもう 教科書:P37</p> <p>△回文の意味を知り、楽しみながら回文を読む。</p> <p>☆学習用語:回文</p>
1学期	5月	1	<p>漢字の ひろば① 画と 書きじゆん 教科書:P38</p> <p>△漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。</p> <p>☆学習用語:画/画数/書き順(筆順)</p>
1学期	5月	2	<p>一年生で 学んだ 漢字① 教科書:P40</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>
1学期	5月	20	<p>二 じゆんじよに 気をつけて、二つの つながりを かんがえよう すみれと あり 教科書:P42</p> <p>□ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。</p>

			<p>★ここが大事:「何が——どうする」に気をつけて読む</p> <p>☆学習用語:順序／つながり／題名</p>
1学期	6月	5	<p>わかりやすくきろくしよう かんさつ発見カード 教科書:P50</p> <p>■観察して同じところや違うところを見つけ、考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、「かんさつ発見カード」を書く。</p> <p>☆学習用語:観察／発見／観察のポイント／メモ／文章／最初／次に／最後に／横書き／算用数字</p>
1学期	6月	1	<p>言葉の文化② むかしのうたを読もう 教科書:P54</p> <p>△平仮名四十七文字を全て使った歌や数字が歌詞に組み込まれた遊び歌があることを知り、音読する。</p> <p>☆学習用語:いろはうた／かな</p>
1学期	6月	3	<p>言葉のひろば① かたかなで 書く 言葉</p>

			<p>かたかなの 言、言葉 教科書:P56</p> <p>△片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。</p>
1学期	6月	2	<p>読書の ひろば① 本で しらべよう 教科書:P58</p> <p>△図書館で本を探す方法を知り、本を探して読む。</p> <p>☆学習用語:目次/司書</p>
1学期	6月	8	<p>三本でしらべてしょうかいしよう 「生きものクイズ」でしらせよう 教科書:P62</p> <p>■経験したことや本で調べたことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。</p> <p>★ここが大事:しりたい ことを しらべ、クイズを 作る</p> <p>☆学習用語:クイズ/内容/目次/問題/答え/説明</p>
1学期	6月	2	<p>漢字の ひろば② なかまの 言葉と 漢字</p>

			<p>「なかにま」 言葉の 漢字</p> <p>教科書:P66</p> <p>△意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。</p>
1学期	6月	4	<p>言葉の ひろば②</p> <p>「言葉のなかまさがしゲーム」を しよう</p> <p>教科書:P68</p> <p>△言葉が体系性をもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめたりする。</p>
1学期	7月	16	<p>四 くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の様子を 読もう</p> <p>きつねの おきやくさま</p> <p>教科書:P72</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつ。</p> <p>★ここが大事:くりかえしの ある お話を 読む</p> <p>☆学習用語:場面／登場人物／繰り返し／順序／わけ</p>
1学期	7月	5	<p>言葉の 文化③</p> <p>いなばの しろうさぎ</p> <p>教科書:P88</p>

			<p>△古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。</p>
1学期	7月	4	<p>言葉のひろば③ うれしくなる言葉 教科書:P90</p> <p>△言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。</p>
1学期	7月	2	<p>読書のひろば② ひろがる読書のせかい 教科書:P94</p> <p>△「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。</p>
2学期	9月	6	<p>じゅんじょを考えて話そう 話したいな、聞きたいな、夏休みのこと 教科書:P96</p> <p>◇夏休みのできごとを、順序を考えて話したり、友達の話を聞いて感想を述べ合ったりする。</p> <p>☆学習用語: 始め／中／終わり</p>

2学期	9月	2	<p>しを読もう てんとうむし 教科書:P98</p> <p>□言葉のリズムや響きを楽しみながら、イメージの自由な広がりをとおして詩を楽しむ。</p>
2学期	9月	2	<p>漢字のひろば③ 二つの漢字でできている言葉 教科書:P100</p> <p>△二つの漢字でできた言葉の構成を確認し、二つの漢字のつながり方を考える。</p>

2学期	9月	2	<p>一年生で学んだ漢字② 教科書:P102</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>
2学期	9月	16	<p>五 登場人物が考えていたことをそうぞうしよう わにのおじいさんのたからもの 教科書:P104</p> <p>□文章を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。</p> <p>★ここが大事:登場人物の考えをそうぞうする</p> <p>☆学習用語:登場人物、場面、想像する</p>
2学期	9月	2	<p>言葉のひろば④ はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉 教科書:P118</p> <p>△対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集める。</p>
2学期	10月	12	<p>六 まとまりのある文章を書こう 町の「すてき」をつたえます 教科書:P120</p> <p>■生活科の町たんけんで見つけたことやわかったこ</p>

			<p>とをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、町のすてきを伝える文章を書く。</p> <p>★ここが大事:まとまりのある文章を書く</p> <p>☆学習用語: /メモ/理由/はじめ/中/おわり/組み立てひょう/じゅんじょ</p>
2学期	10月	1	<p>国語の学習 つながる ひろがる 教科書:P126</p> <p>◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。</p>
2学期	10月	15	<p>一 じゅんじょや様子をあらわす言葉に気をつけよう さけが大きくなるまで 教科書:P8</p> <p>□さけの成長について、季節や場所、さけの様子の変り変わりを考えながら、内容の大体を読む。</p> <p>★ここが大事:時・場所・大きさを様子をせつめいする言葉</p> <p>☆学習用語:いつ(時)/どこで(場所)/どんな(大きさや様子)/じゅんじょ</p>
2学期	10月	2	<p>二まいのしゃしんのちがいをくらべよう この間に何があった?</p>

			<p>この間に何かめつた： 教科書：P20</p> <p>□1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になった際、何かが起きたことを想像する。</p> <p>☆学習用語：比べる</p>
2学期	10月	12	<p>二 様子をよく見て、くわしく書こう おもしろいもの、見つけたよ 教科書：P28</p> <p>■見つけた物をよく見て、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して、友達に様子が伝わるように詳しく文章を書く。</p> <p>★ここが大事：様子がつたわるように書く</p> <p>☆学習用語：メモ／様子／大きさ／色／形／さわった感じ／はじめ／中／おわり／まとまり／矢印／読み返す</p>
2学期	11月	1	<p>言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう 教科書：P32</p> <p>△折句の文を読み、自分の名前やすきなものの名前を使って折句の文を作る。</p>
2学期	11月	10	<p>三 心にのこったところをしようかいし合おう ないた赤おに 教科書：P34</p> <p>□登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら</p>

			<p>「豆物八物のぬい付けのぼろやいふとやんはがた、 『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。</p> <p>★ここが大事: 自分の考えをふりかえる</p> <p>☆学習用語: 登場人物／できごと／変化</p>
2学期	11月	6	<p>読書の広場③ 「お話びじゅつかん」を作ろう 教科書: P56</p> <p>△自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところ を絵に描いて紹介する。</p> <p>☆学習用語: 題名／作者</p>
2学期	11月	8	<p>四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう 教科書: P60</p> <p>◇話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽 しみ会」を開く。</p> <p>★ここが大事: つないで話し合う</p> <p>☆学習用語: カード／理由／質問／つなぐ／話し合 い／伝える</p>
2学期	11月	6	<p>心がうごいたことを書こう みじかい言葉で 教科書: P64</p>

			<p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方をくふうして心が動いたことを短い言葉で書く。</p> <p>★ここが大事：心がうごいたときに感じたことを短い言葉で書く</p> <p>☆学習用語：心が動く／なりきる／短い言葉で</p>
2学期	12月	2	<p>漢字の広場④ 漢字のつかい方と読み方 教科書：P66</p> <p>△漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。</p> <p>☆学習用語：おくりがな</p>
2学期	12月	2	<p>一年生で学んだ漢字③ 教科書：P68</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>
2学期	12月	14	<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう ジャンプロケットを作ろう 教科書：P70</p> <p>□順序を示す書き方を知る。</p>

			<p>★ここが大事:じゅんじょをしめす書き方でせつめいする</p> <p>☆学習用語:説明の工夫/順序/まず/つぎに</p>
2学期	12月	8	<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう</p> <p>おもちゃのせつめい書を書こう</p> <p>教科書:P80</p> <p>■おもちゃの作り方や遊び方について、順序にそって構成を考え、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して説明書を書く。</p> <p>★ここが大事:せつめい書を書く</p> <p>☆学習用語:伝える/メモ/説明書/組み立て/じゅんじょ/作り方/あそび方/一、二、三……</p>
3学期	1月	2	<p>しを読もう</p> <p>せかいじゅうの海が</p> <p>教科書:P84</p> <p>□音読をとおして言葉のリズムや響きを楽しむとともに、無限に広がる想像の世界を楽しむ。</p>
3学期	1月	17	<p>六 場面や人物の様子をそうぞうして、音読げきをしよう</p> <p>かさこじぞう</p> <p>教科書:P88</p> <p>□文章を読んで、場面や登場人物の様子に着目して具体的に想像し、伝え合ったり演じたりする。</p>

			<p>★ここが大事: 場面や人物の様子がつたわるように音読する</p> <p>☆学習用語: 登場人物 / 音読 / 場面 / 発表 / 様子</p>
3学期	1月	3	<p>言葉の文化⑤ かるたであそぼう 教科書: P106</p> <p>△日本に古くから伝承されている昔遊び(かるた)を知り、実際に遊ぶことをとおしてその魅力を知る。</p>
3学期	1月	6	<p>じゅんじょに気をつけてせつめいしよう おはじきのあそび方 教科書: P108</p> <p>◇昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。</p> <p>☆学習用語: 順序を表す言葉 / メモ / 説明 / 言葉 / 始め / 中 / 終わり / 順序</p>
3学期	2月	4	<p>言葉の広場⑤ 主語とじゅつ語 教科書: P110</p> <p>△文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。</p>
3学期	2月	2	<p>☆学習用語: 主語 / 述語</p> <p>漢字の広場⑤ 同じ読み方の漢字</p>

			<p>同じ読み方の漢字 教科書:P112</p> <p>△同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。</p>
3学期	2月	15	<p>七 思い出をくわしく書いて、読みかえそう こんなことができるようになったよ 教科書:P114</p> <p>■経験したことやできるようになったことなどについて、必要な事柄を集めたり確かめたりして文章を書き、まちがいがいいか読み返す。</p> <p>★ここが大事: けいけんしたことをくわしく書く／文章を読よみかえす</p> <p>☆学習用語: 思い出す／メモ／順序／日記／組み立て／組み立て表／はじめ／中／おわり／読み返す／見直す／たしかめる／小さく書く字／点／丸／かぎ／会話／原稿用紙</p>
3学期	2月	3	<p>言葉の広場⑥ 音や様子をあらわす言葉 教科書:P120</p> <p>△擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使う。</p>
3学期	2月	2	<p>漢字の広場⑥ 組み合わせてできている漢字 教科書:P122</p> <p>△同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。</p>

3学期	2月	2	<p>一年生で学んだ漢字④ 教科書:P124</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>
3学期	3月	18	<p>八 何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、お話をしようかいしよう アレクサンダとぜんまいねずみ 教科書:P126</p> <p>□何が、どうかかわったかに気をつけて読み、あらすじをまとめてお話を紹介する。</p> <p>★ここが大事:あらすじをまとめる</p> <p>☆学習用語:登場人物、できごと、変化、あらすじ</p>
3学期	3月	3	<p>国語の学習 これまで これから 教科書:P144</p> <p>■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。</p>

評価規準
学習指導要領との対応

【知識・技能】

◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)

【言語活動例】

・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)

【態度】

・進んで伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かしてすごろくトークをしようとしている。

【知識・技能】

◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

【言語活動例】

・日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。(B(2)イ)

【態度】

・積極的に、経験したことや思ったことなどから書くことを見つけようとし、学習課題にそって、日記を書いて友達と読み合おうとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・進んで言葉の響きなどに気をつけて、学習の見通しをもって音読しようとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・進んで場面や登場人物の様子を捉え、学習課題にそって音読を聞き合ったり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。

【知識・技能】

○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ
◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)

【言語活動例】

・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A(2)イ)

【態度】

・進んで話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、今までの学習を生かして、伝言クイズをしようとしている。

【知識・技能】

◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ

【態度】

・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって回文を楽しみながら読んでいる。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【態度】

・積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって、正しい筆順で漢字を書こうとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。

【知識・技能】

◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ
○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

○「書くこと」において、語と語や文と文との結び方に注意しながら、

内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)
○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)
・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)

【態度】

・進んで時間的な順序や事柄の順序を考えながら読むことを通して、学習課題に沿って、文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。

【知識・技能】

◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ)
◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)

【思考・判断・表現】

○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・積極的に、発見したことをもとに簡単な構成を考え、学習課題にそって、「かんさつ発見カード」を書こうとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。((1)ク)
◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ)

【態度】

・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。

【知識・技能】

◎長音、拗音、促音、撥音などの声記、助詞の「け」「へ」及び「を」

◎「文目、物目、従目、擬目などの表記、助詞の「は」、「を」、「及び」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ)
○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ)

【態度】

・積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。

【知識・技能】

◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)

【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)

【言語活動例】

・学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。(C(2)ウ)

【態度】

・図書館で本を探す方法を知り、自分の目的の本を探す際に役立てようとしている。

【知識・技能】

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・積極的にクイズにしたい生き物について調べたり必要な事柄を集めたりして、学習課題にそって、「生きものクイズカード」を書こうとしている。

【知識・技能】

◎第1学年において、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配

◎第1学年においては、加衣の字が加衣の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1エ)

○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1オ)

【態度】

・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、漢字の意味のつながりを知ろうとしている。

【知識・技能】

◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1オ)

○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2ア)

【態度】

・積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1ク)

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1エ)

○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1オ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2イ)

【態度】

・進んでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題にそって自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

【知識・技能】

◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3ア)

【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。

【知識・技能】

◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア)

◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにしている。((1)オ)

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア)

【言語活動例】

・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A(2)イ)

【態度】

・積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気づこうとし、学習の見通しをもって「うれくなる言葉」を伝え合おうとしている。

【知識・技能】

◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)

【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んだりしている。

【知識・技能】

◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ)

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)

【言語活動例】

・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)

【態度】

・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・すすんで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【態度】

・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B2)ア

【態度】

・積極的に文の中における主語と述語の関係に気づこうとし、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。

【知識・技能】

◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ

○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ

【態度】

・学習課題にそって、進んで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。

【知識・技能】

◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ

○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア

【態度】

・積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気づこうとし、学習の見通しをもって言葉を使おうとしている。

【知識・技能】

◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・他教科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)

○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

【態度】

・進んで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

【知識・技能】

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。(A(1)イ)

◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)

○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

【言語活動例】

・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)

・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)

【態度】

・積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。

【知識・技能】

◎共通 相違 事柄の順序など情報と情報との関係について理解し

◎六通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)

○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

【言語活動例】

・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)

【態度】

・進んで二枚の写真のちがいを比べることを通して、学習課題にそって、二枚の写真の間にあったできごとを想像しようとしている。

【知識・技能】

◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B(1)オ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・進んで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。

【知識・技能】

◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ)

【態度】

・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって折句の文を作っている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)

【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、場面の様子に「善日」で登場人物の行動を

○「読むこと」において、物語の様子に注目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・進んで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。

【知識・技能】

◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)

【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。(C(2)ウ)

【態度】

・「お話しじゅつかん」を作るという活動に見通しをもち、進んで今までに読んできた本を振り返って読んだり、カード作りに取り組んでいたりにしている。

【知識・技能】

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)

【言語活動例】

・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A(2)イ)

【態度】

・積極的に互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」でする遊びを決めるために、グループで話し合おうとしている。

【知識・技能】

◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

【言語活動例】

・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)

【態度】

・進んで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達の作品のよさを見つけようとしていたりしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)

【態度】

・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

【言語活動例】

・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)

【態度】

・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。

【知識・技能】

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)

【思考・判断・表現】

○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(B(1)イ)

◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)

【態度】

・進んで説明の工夫を見つけようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。

【知識・技能】

◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・進んで説明する順序に注意し、学習課題にそって、わかりやすく説明する文章を書こうとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・積極的に文章を読んで感じたことやわかったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。

【知識・技能】

◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)

◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。

【知識・技能】

◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ)

【態度】

・すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づき、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。

【知識・技能】

◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ)

【思考・判断・表現】

◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)

【言語活動例】

・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)

【態度】

・積極的に相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。

【知識・技能】

◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ)

【態度】

・積極的に文の中における主語と述語との関係に気づき、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。

【知識・技能】

◎第1学年において、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【態度】

・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。

【知識・技能】

◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)

【言語活動例】

・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

【態度】

・粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。

【知識・技能】

◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ)

【態度】

・積極的に、音や様子を表すことができる言葉があることに気づき、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)

【態度】

・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。

【知識・技能】

◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

【言語活動例】

・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)

【態度】

・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。

【知識・技能】

◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア

【思考・判断・表現】

◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)

◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)

【言語活動例】

・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

【態度】

・すすんで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。

【思考・判断・表現】

○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)

◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

【態度】

・すすんで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。